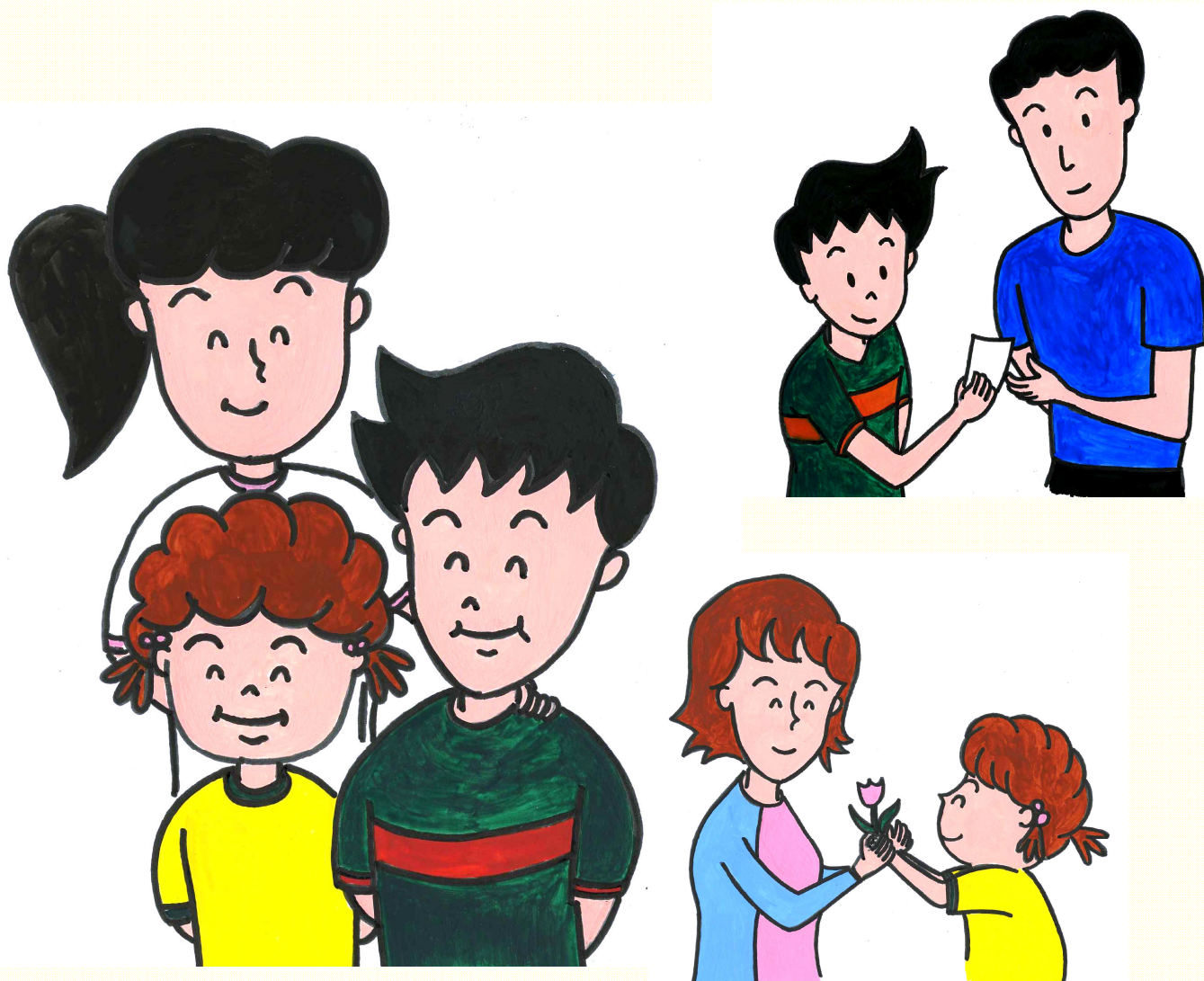


# 自閉症のある児童生徒の 自立活動ガイドブック

～他者とのかかわり編～



岩手県立総合教育センター  
教育支援相談担当

# はじめに

特別支援学校（知的障がい）では、知的障がいのある児童生徒の特性に応じた、実際的な状況下で体験的に学習する領域・教科を合わせた指導（日常生活の指導，遊びの指導，生活単元学習，作業学習）を教育課程の中核に据え，学校生活の充実や就労実現を目指しています。

一方では，特別支援学校（知的障がい）の約 25% の児童生徒が，自閉症を併せ有していると言われています。そのため，自閉症の障がい特性に応じた教育課程，指導内容・方法の改善を図ることが喫緊の課題となっています。

そこで，本ガイドブックは，生活に結び付いた実際的で具体的な活動に，自立活動の視点に基づく指導内容や支援方法を加え，自閉症のある児童生徒への指導・支援の充実に役立てることを目的に作成しました。

## 目次

### はじめに

1	自立活動の基本的な考え方	1
2	自立活動の指導を進めるに当たっての取組	4
3	自閉症の特性に応じた指導・支援 ～他者とのかわりに関するねらい・視点・自立活動との関連～	5
4	他者とのかわりに関する自立活動の進め方	7
5	他者とのかわりに関する自立活動の実践例	8
	【資料1】 他者とのかわりに関する指導内容表	20
	【資料2】 学年会の進め方例	28

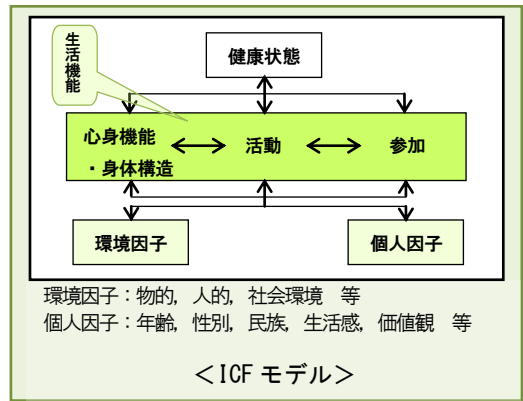


# 自立活動の基本的な考え方

## 1 自立活動の変遷

特別支援学校学習指導要領解説自立活動編(2009)には、自立活動の変遷や国際生活機能分類( ICF )について以下のように示しています。

- ◆1971年に障がいの状態を改善・克服するための指導として、学習指導要領に「養護・訓練」として創設された。
- ◆1998年7月にまとめられた教育課程審議会の答申では、「養護・訓練については、一人一人の幼児児童生徒の実態に対応した主体的な活動であり自立を目指した活動であることを一層明確にするため、名称を「自立活動」と改めるとともに、目標・内容についても見直し、幼児児童生徒の障がいの状態の多様化に対応し、適切かつ効果的な指導が行われるようにする。」と提言された。これを受けて、養護・訓練の名称、目標、内容等が見直された。
- ◆2001年に、世界保健機関総会(WHO)において国際生活機能分類( ICF )が採択され、新しい障がい観が生まれた。ICFの考え方が広く浸透しつつあることを踏まえ、今後の自立活動の指導においては、生活機能や障がい、環境因子等をよりの確に把握し、相互の関連性について十分考慮することがこれまで以上に求められている。



## 2 自立活動の目標

個々の児童生徒が自立を目指し、障害による学習上又は生活上の困難を主体的に改善・克服しようとするために必要な知識、技能、態度及び習慣を養い、もって心身の調和的発達を基盤を培う。

『特別支援学校学習指導要領』(2009)

## 3 自立活動の内容

自立活動の内容は、6区分26項目で分類・整理されています。2009年に「人間関係の形成」の区分が新設されました。

- 1 健康の保持(4項目)
- 2 心理的な安定(3項目)
- 3 人間関係の形成(4項目)
- 4 環境の把握(5項目)
- 5 身体の動き(5項目)
- 6 コミュニケーション(5項目)

【2009年に追加】

他者とのかかわりの基礎に関すること  
 他者の意図や感情の理解に関すること  
 自己の理解と行動の調整に関すること  
 集団への参加の基礎に関すること

【2009年に追加】

感覚や認知の特性への対応に関すること

## 4 自立活動の指導

### ● 特別支援教育に携わる教員は、必ず自立活動の視点をもちましょう！

学校教育法第 72 条では、特別支援学校は、障がいによる学習上又は生活上の困難を克服し自立を図るために必要な知識技能を授けることを目的とすることが示されています。また、自立活動は、特別支援学校の教育課程において特別に設けられた指導領域であり、その目標は、特別支援学校の目的と一貫性のあるものです。

したがって、特別支援教育に携わる教員は、必ず自立活動の視点をもつことが必要です。



書店で購入するほかにも、文部科学省の Web ページからダウンロードすることもできます。

[http://www.mext.go.jp/a\\_menu/shotou/new-cs/youryou/1278527.htm](http://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/new-cs/youryou/1278527.htm)



### ● 自立活動の時間における指導と各教科等における指導との密接な関連を！

自立活動の指導は、学校の教育活動全体を通じて適切に行います。特設された自立活動の時間はもちろん、各教科、道徳、外国語活動、総合的な学習の時間及び特別活動の指導を通じても適切に行うものです。

### ● 自立活動の内容は、必要な項目を選定して取り扱います！

自立活動の「内容」は、各教科等のようにそのすべてを取り扱うものではなく、一人一人の実態に応じて必要な項目を選定し、それらを相互に関連付けて設定します。

### ● 指導計画を作成しましょう！

個々の障がいの状態や発達の段階等の的確な把握に基づき、指導の目標及び指導内容を明確にし、個別の指導計画を作成することが必要です。

#### 児童生徒の実態把握

障がいの状態、発達、経験、興味・関心、生活や学習環境などの実態を的確に把握します。

#### 指導の目標（ねらい）の設定

長期的及び短期的な観点から指導のねらいを設定します。

#### 具体的な指導内容の設定

指導の目標（ねらい）に基づき、具体的な指導内容を設定します。

#### 評価

児童生徒の様子から、指導内容や支援方法を適切に評価し、個別の指導計画や具体的な指導の改善に努めていきます。

## ● 指導方法を創意工夫しましょう！

特定の方法をすべての児童生徒に機械的に当てはめたり，教師からの一方的な働き掛けに終始する方法や画一的な方法になったりするのはなく，個々の児童生徒の実態に適合した方法を創意工夫しましょう。

また，自立活動の指導に適用できると思われる方法又は方法の裏付けとなっている理論として，心理療法，感覚訓練，動作の訓練，作業療法等があります。これらは，それぞれの理論的な立場からの問題の把握及びその解決を追求しているものであり，そのまま自立活動の指導に適用しようとすると，当然無理を生じることを知っておく必要があります。これらのことを踏まえて，特定の指導に有効であると思われる方法を選択し，それを自立活動の指導に適合するように工夫して応用することが大切です。その際は，指導の課題や段階を児童生徒の実態に即して細分化し，それに応じた方法の適用を工夫しましょう。

## ● 教師の協力体制を組みましょう！

特別支援学校の教員の免許状や自立活動を担当する教員の免許状を所有する教員等の専門的な知識や技能を有する教員を中心として，児童生徒にかかわる教師すべての協力の下に個別の指導計画を作成し，実際の指導に当たります。



## ● 必要に応じて，専門の医師等との連携協力をしましょう！

専門の医師をはじめ，理学療法士，作業療法士，言語聴覚士，心理学の専門家等各分野の専門家に，必要に応じて，指導・助言を求めたり，連絡を密にしたりしましょう。

## Q & A 児童生徒のできないことに着目してしまうのですが・・・

具体的な指導内容を設定するに当たっては，児童生徒のできないことに着目するのではなく，以下の配慮事項をもとに設定しましょう。

### ◆主体的に取り組む指導内容

- ・児童生徒にとって解決可能で，取り組みやすい指導内容
- ・児童生徒が興味・関心をもって取り組めるような指導内容
- ・児童生徒が目標を自覚し，意欲的に取り組んだことが成功に結び付いたということを実感できる指導内容

### ◆改善・克服の意欲を喚起する指導内容

### ◆遅れている側面を補う指導内容

### ◆自ら環境を整える指導内容

## 参考文献

「新しい教育課程と学習活動Q&A 特別支援教育[知的障害教育]」  
全国特別支援学校知的障害教育校長会(2010)，東洋館出版，1,890円(税込)

知的障がい特別支援学校における自立活動の指導の考え方や進め方が，Q&A方式で分かりやすく解説されています。



## 2

# 自立活動の指導を進めるに当たっての取組

これまでのことを踏まえ、自立活動の指導を進めるに当たって、各校において必要な取組を推進面と指導面から整理します。

## 【推進面】

### 1 自立活動の基本的な考え方等についての理解

自立活動の基本的な考え方を理解しながら、これまでの自立活動の指導を振り返り、それぞれの学校教育目標の具現化のために、自立活動の視点に基づく指導内容や支援方法を加えた指導・支援を行っていきましょう。

### 2 指導に当たる教師間の指導場面や指導内容、支援方法の共通理解

複数の教師により児童生徒を見取り、日常的に行われている学年会等を活用して適切な指導や必要な支援、評価について検討していきましょう。

## 【指導面】

### 1 児童生徒の教育的ニーズに即した目標の設定

児童生徒の目標を整理し焦点化した上で、教育的ニーズに即した目標を設定し、指導場面ごとの目標や指導内容、支援方法を検討しましょう。

### 2 それぞれの指導形態のよさを生かした指導

「領域・教科を合わせた指導」や「各教科等における指導」での取組、「時間を特設しての指導」での取組など、それぞれの指導形態のよさを生かしながら、それらの指導形態から選択したり、組み合わせたりするなどして指導・支援を行っていきましょう。

### 3 個別の指導計画の活用

個別の指導計画を作成するだけにとどまらず、指導に当たる教師間の共通理解資料としたり、指導を通して指導内容や支援方法を見直したりしましょう。また、学年や学部間の引継資料とすることも大切なことです。

自閉症のある児童生徒の学校生活の充実や就労実現に向けて、障がいの特性から生じる対人関係やコミュニケーションといった**他者とのかかわりへの困難さへの対応が求められています。**

したがって、障がいによる学習上又は生活上の困難を主体的に改善・克服しようとするために必要な知識、技能、態度及び習慣を養い、もって心身の調和的発達の基盤を培う**自立活動の指導を充実させていくことが必要です。**

そのためには、学習指導要領に示されている内容から必要な項目を選定し、それらを相互に関連付けて**具体的な指導内容を設定することが大切です。**その際は、自閉症のある児童生徒の具体的な活動をイメージしながら、他者とのかかわりに関する具体的な指導内容を設定することも必要なことです。

ただし、自立活動の内容は大綱的に示してあることから、文言だけでは具体的な指導内容を設定することがイメージしにくい場合があります。

そこで、自立活動の区分や項目に基づき、他者とのかかわりに関する指導の目標（ねらい）とその視点として4つに分類し、この4つの視点ごとに具体的な活動をまとめた「**他者とのかかわりに関する指導内容表**」を作成しました。

「梅永・前川・小林(1991)は、知的障害者、自閉症者の社会生活能力調査票における下位項目に関して因子分析を行ったところ、自閉症者のカテゴリと知的障害者のカテゴリは異なっており、とりわけコミュニケーションを必要とするカテゴリに関して相違が見られた。社会的スキルの中でこのコミュニケーションスキルや対人スキルが作業理解、ひいては職業的自立への課題となるため、その評価は最も重要なものの一つであり、その後の職業指導の在り方などにも関連してくる。よって、自閉症者にとって最も評価を重視しなければならない項目は社会的スキルと考える。」

「自閉症者の職業上の諸問題に関する研究」  
(障害者職業総合センター：1998)

#### 【必須チェック項目】

日常生活	<ul style="list-style-type: none"> <li>起床・生活リズム・食事・服薬管理</li> <li>外来通院・体調不良時の対処・身だしなみ</li> <li>金銭管理・自分の障害や症状の理解</li> <li>援助の要請・社会性</li> </ul>
働く場での対人関係	<ul style="list-style-type: none"> <li>あいさつ・会話・言葉遣い</li> <li>非言語的コミュニケーション・協調性</li> <li>感情のコントロール・意思表示・共同作業</li> </ul>
働く場での行動・態度	<ul style="list-style-type: none"> <li>一般就労への意欲・作業意欲</li> <li>就労能力の自覚・働く場のルールの理解</li> <li>仕事の報告・欠勤等の連絡・出勤状況</li> <li>作業に取り組む態度・持続力・作業速度</li> <li>作業能率の向上・指示内容の理解</li> <li>作業の正確性・危険への対処</li> <li>作業環境の変化への対応</li> </ul>

「就労移行支援のためのチェックリスト」  
(高齢・障害者雇用支援機構：2006)

#### 【他者とのかかわりに関する指導の目標（ねらい）・視点・自立活動との関連】

視 点	他者の理解に基づいた行動	自己の理解に基づいた行動	意思や感情の共有	集団活動への参加
指導の目標（ねらい）	言葉や表情、身振りなどから教師や友達等の意図や感情を理解し行動する	自分の特徴などを理解し、集団の中で、自分の気持ちや感情をコントロールして状況に応じて行動を選択・決定・実行する	言葉などのコミュニケーション手段により、教師や友達等の意思や感情を受け止めたり、場や相手等の状況に応じて、自分の意思や感情を伝えたりする	集団の雰囲気に合わせてたり、集団に参加するための手順やきまりを理解したりして、集団活動に参加する
自立活動との関連	2 心理的な安定(1)～(3) 3 人間関係の形成(1)(2) 6 コミュニケーション(1)～(5)	2 心理的な安定(1)～(3) 3 人間関係の形成(3) 4 環境の把握(2) 6 コミュニケーション(1)～(5)	2 心理的な安定(1)～(3) 3 人間関係の形成(2) 6 コミュニケーション(1)～(5)	2 心理的な安定(1)～(3) 3 人間関係の形成(4) 6 コミュニケーション(1)～(5)

【「他者とのかわりに関する指導内容表」における自己の理解に基づいた行動】

自己の理解に基づいた行動

【ねらい】

- ・安定した情緒の下で生活できる。
- ・場所や場面の状況を理解して心理的抵抗を軽減したり、変化する状況を理解したりして適切に対応する。
- ・自分の障がいの状態を理解したり受容したりして、積極的に障がいによる学習上又は生活上の困難を改善・克服しようとする意欲の向上を図る。
- ・自分の得意なことや不得意なこと、自分の行動の特徴などを理解し、集団の中で状況に応じた行動ができる。
- ・自分の気持ちや情緒をコントロールして変化する状況に適切に対応するとともに、障がいによる学習上又は生活上の困難を改善・克服する意欲の向上を図る。

※自立活動との関連：2心理的な安定(1)～(3)、3人間関係の形成(3)、環境の把握(2)、コミュニケーション(1)～(5)

指導内容	具体的な指導内容	指導場面例
環境要因の把握	<ul style="list-style-type: none"> <li>・快刺激が分かる。</li> <li>・不快刺激が分かる。</li> <li>・不快刺激を回避・除去する。</li> </ul>	<p>【領域・教科を合わせた指導における指導場面例】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・仕事や実習場面</li> <li>・校外での買い物やレストランでの食事の場面</li> <li>・自分の欲しい物や食べたい物を伝える場面等</li> </ul>
身体意識	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ボディイメージを育てる活動をする。</li> <li>・身体各部の動きが分かる。</li> <li>・身体各部の動きから用途が分かる。</li> <li>・身体各部のそれぞれがどの位置に存在するのか分かる。</li> <li>・他者の動きを見て模倣する。</li> </ul>	<p>【教科別・領域別の指導における指導場面例】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・全校朝会等の集会活動や運動会、学習発表会等における、安定して取り組める場面。</li> <li>・気持ちや情緒のコントロールが必要であると思われる、本人にとって不得意な場面</li> </ul>
性格	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分が認められていることが分かる。</li> <li>・自分が認められている性格が分かる。</li> <li>・怒ってしまう原因が分かる。</li> <li>・怒ってしまう原因を除去したり、原因を回避したりする。</li> <li>・怒ってしまう刺激に対して、別刺激で対抗する。</li> <li>・他者の好きなのところが分かる。</li> <li>・他者の好きなのところを真似る。</li> </ul>	<p>【特設しての指導場面例】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・感情の認知やコントロールについて学ぶ活動 (表情カードを使用し、色々な感情について知る。自分の感情と表情カードのマッチングをする)</li> </ul> <p>〈指導上の留意点〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>*自閉症のある児童生徒は、自分の行動を注意されたときに、反発して興奮を静められなくなることがある。このような場合には、自分を落ち着かせることができる場所に移動してその興奮を沈めることや、いったんその場を離れて深呼吸するなどの方法があることを教え、それらを実際に行うことができるように指導することが大切である。</li> </ul>
くせ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分のくせが分かる。</li> <li>・他者のくせが分かる。</li> <li>・他者からの刺激でくせを止める。</li> <li>・自分で別刺激を与えてくせを止める。</li> <li>・社会的に許容されるくせへ変える。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>*自閉症のある児童生徒は、例えば、書き取りの練習を繰り返して行っても、期待したほどの成果が得られなかったなどの経験から、生活全体においても自信を失っている場合がある。そのため自らの失敗に対して感情的になり、情緒が不安定になることがある。このような場合には、本人が得意なことを生かして課題をやり遂げるように指導し、成功したことを褒めることで自信をもたせたり、自分のよさに気付くことができるようにしたりすることが必要である。</li> </ul>
自分らしさ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・得意なことが分かる。</li> <li>・得意なことによっての利益が分かる。</li> <li>・得意なことを何度もやってみる。</li> <li>・得意なことを使って理解や行動を広げる。</li> <li>・苦手なことが分かる。</li> <li>・苦手なことによっての不利益が分かる。</li> <li>・苦手なことの代替法やサポートが分かる。</li> <li>・苦手なことに対して得意なことを使って代替える。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>*自閉症のある児童生徒は、予告なしに行われる避難訓練や、急な予定の変更などに対応することができず、混乱したり、不安になったりして、どのように行動したらよいか分からなくなることがある。このような場合には、予想される事態や状況を予告したり、事前に体験できる機会を設定したりすることなどが必要である。</li> </ul>
服装・食べ物等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・服装の違い(色・模様・ライン等)や食べ物等の違いが分かる。</li> <li>・自分の好む服装や食べ物等が分かる。</li> <li>・自分の好きな服装や食べ物等を概略的に表現する。</li> <li>・自分の好きな服装をしたり、食べ物を食べたりする。</li> <li>・自分の好きな服装をしたり、食べ物を食べたときの他者の反応を感じる。</li> <li>・他者の反応から、自分の好きな服装や食べ物等を省みる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>*自閉症のある児童生徒は、計算の仕方などを覚えることが他の人と比較して時間がかかることなどに気付いても、それを自分自身の努力不足によるものと思い込んでいる場合がある。このような場合には、自分の得意な面と不得意な面を知り、その得意な面を活用することで、困難を克服することができるということを体験することが大切である。</li> </ul>

※「他者とのかわりに関する指導内容表」は資料として、p. 20に掲載しています。



# 4 他者とのかかわりに関する自立活動の進め方

自立活動の指導を進めるに当たっての取組，自閉症の特性に応じた指導・支援の内容を踏まえた，他者とのかかわりに関する自立活動の進め方について以下に示します。

指導・支援の展開	指導面に関する取組	推進面に関する取組	使用するもの	
研修		<b>1 自立活動の基本的な考え方等についての理解</b> 校内研修等による，ガイドブック等を活用した自立活動に関する内容や個別の指導計画についての研修	・本ガイドブック	P. 8
個別の指導計画の作成①	<b>1 児童生徒の教育的ニーズに即した目標の設定</b> <b>3 個別の指導計画の活用</b> 学校生活の充実や就労実現を見据えた指導の目標(ねらい)や指導内容，指導場面の設定		・特別支援学校学習指導要領 解説自立活動編・総則等編 ・他者とのかかわりに関する指導内容表 ・個別の指導計画	P. 9
学年会		<b>2 指導に当たる教師間の指導場面や指導内容，支援方法の共通理解</b> 学年会による，個別の指導計画を活用した，指導の目標(ねらい)や指導内容，指導場面の検討及び共通理解	・学年会の進め方資料 ・学年会資料	P. 10
個別の指導計画の作成②	<b>1 児童生徒の教育的ニーズに即した目標の設定</b> <b>3 個別の指導計画の活用</b> 指導場面における目標(具体的な指導内容)，支援方法の設定		・本ガイドブック ・特別支援学校学習指導要領 解説自立活動編・総則等編 ・他者とのかかわりに関する指導内容表 ・個別の指導計画	P. 12
学年会		<b>2 指導に当たる教師間の指導場面や指導内容，支援方法の共通理解</b> 学年会による，個別の指導計画を活用した，指導場面における目標(具体的な指導内容)，支援方法の検討及び共通理解	・学年会の進め方資料 ・学年会資料	P. 13
実践	<b>2 それぞれの指導形態のよさを生かした指導</b> <b>3 個別の指導計画の活用</b>		・個別の指導計画	P. 15
学年会		<b>2 指導に当たる教師間の指導場面や指導内容，支援方法の共通理解</b> 学年会による，個別の指導計画を活用した，指導場面における目標(具体的な指導内容)，支援方法の確認と修正	・本ガイドブック ・特別支援学校学習指導要領 解説自立活動編 ・他者とのかかわりに関する指導内容表 ・個別の指導計画	P. 16
個別の指導計画による評価	<b>3 個別の指導計画の活用</b> 実践に基づく，目標，指導場面，指導内容，指導方法の評価，上学年や上学部への引継		・個別の指導計画	P. 18

# 5

## 他者とのかわりに関する自立活動の実践例

### 研 修

#### ● 時 期

年度当初あるいは、次年度構想を行う年度末

#### ● 形 態

校内あるいは学部・学年ごとの各校の実状に応じた形態

#### ● 内 容

自立活動の基本的な考え方、個別の指導計画の作成・活用に関する基本的事項、本校における教育課程編成の考え方、学校・学年経営の骨子等

#### ◆ 実践例

銀河支援学校では、年度当初に、個別の指導計画の作成・活用についての校内研修会を開催しました。この研修会では、個別の指導計画の作成方法だけに止まることなく、学部主任による本校における教育課程編成の考え方や、外部講師による自立活動を含めた各教科等の考え方について説明を受け、一つ一つ確認していくことも大切にしました。

校内研修会の後には、研究主任や学年長等のベテランの先生方が各学年に入り、本ガイドブックを活用し、具体例をまじえながら説明しました。小グループであることから、適宜質問をとりながら進めました。

指導・支援の展開	指導面に関する取組	推進面に関する取組	使用するもの
研修		1 自立活動の基本的な考え方等についての理解 「キーポイントが未来をひらく」を基にした自立活動に関する研修や、個別の指導計画についての研修	・本ガイドブック ・特別支援学校 指導実践 編 ・個別の指導計画 ・指導者の心得 ・個別の指導計画
学年会	1 児童生徒の教育的ニーズに即した 目標の設定 3 個別の指導計画の活用 学校生活の充実や自立活動を基にした指導の目標（はらひ）や指導内容、指導場面の設定	2 指導に当たる教員の指導観や指導内容、支援方法の共通理解 学年会による、個別の指導計画を基にした、指導の目標（はらひ）や指導内容、指導場面の検討及び共通理解	・本ガイドブック ・特別支援学校 指導実践 編 ・指導者の心得 ・個別の指導計画 ・学年会資料
学年会	1 児童生徒の教育的ニーズに即した 指導観の設定 3 個別の指導計画の活用 指導場面における目標（具体的な指導内容）、支援方法の設定	2 指導に当たる教員の指導観や指導内容、支援方法の共通理解 学年会による、個別の指導計画を基にした、指導場面における目標（具体的な指導内容）、支援方法の検討及び共通理解	・本ガイドブック ・特別支援学校 指導実践 編 ・指導者の心得 ・個別の指導計画 ・学年会資料
実践	2 それぞれの指導形態のよさを生かした指導 3 個別の指導計画の活用	2 指導に当たる教員の指導観や指導内容、支援方法の共通理解 学年会による、個別の指導計画を基にした、指導場面における目標（具体的な指導内容）、支援方法の検討及び共通理解	・個別の指導計画 ・本ガイドブック ・特別支援学校 指導実践 編 ・指導者の心得 ・個別の指導計画 ・学年会資料
学年会	3 個別の指導計画の活用 実践に基づき、目標、指導場面、指導内容、指導方法の討議、学年や上 学級への引継		・本ガイドブック ・特別支援学校 指導実践 編 ・指導者の心得 ・個別の指導計画 ・学年会資料
個別の指導計画による形態			・本ガイドブック ・特別支援学校 指導実践 編 ・指導者の心得 ・個別の指導計画 ・学年会資料

### Q & A

自閉症のある児童生徒の特性を生かした指導についても研修したいのですが、どうしたらよいですか？

国立特別支援教育総合研究所は、これまでの研究をもとに、「自閉症教育実践シリーズ」を刊行しています。

具体例を交えながら、分かりやすく説明されています。



「自閉症教育実践ガイドブック」  
独立行政法人国立特殊教育総合研究所編著（2004）、ギアーズ教育新社 1,200 円（税込）



「自閉症教育実践ケースブック」  
独立行政法人国立特殊教育総合研究所編著（2005）、ギアーズ教育新社、1,500 円（税込）

#### 【学びを促進するための特性の理解と活用】

- 1 意思伝達の質的な困難  
→適切なコミュニケーションツールを用意しましょう。
- 2 対人相互反応における質的な困難  
→人と一緒に課題に取り組むことから始めましょう。
- 3 行動や興味が限定され、反復的で常同的な様式がある場合  
→こだわりを生かして指導しましょう。
- 4 感覚の過敏、または鈍感がある場合  
→よく観察して、しっかり配慮しましょう。
- 5 手続き的な記憶の仕方が得意な場合  
→最初から最適な方法で教えましょう。
- 6 短期記憶より長期記憶の仕方が得意な場合  
→繰り返しの学習で、基礎となる知識を定着させましょう。
- 7 聞きながら学ぶより、動作・操作を伴った学習方法が得意な場合  
→動作や操作を伴った教材を活用しましょう。
- 8 聴覚より視覚的な情報処理が得意な場合  
→見せるとよく分かる！視覚的な情報を活用しましょう。
- 9 特異な能力（独特な思考方法等）を有する場合  
→見逃すな！特別な能力を生かしましょう。
- 10 同時に複数の情報を処理することが難しい場合  
「モノトラック（シングルフォーカス）」  
→一度に一つ！
- 11 がんばりどころや、休むべきところを取捨選択するのが難しいことがある場合  
「セントラル・コヒーレンス」  
→がんばることだけでなく、「休む」ことも教えましょう。



「自閉症教育実践マスターブックーキーポイントが未来をひらくー」より引用  
国立特別支援教育総合研究所編著（2008）、ギアーズ教育新社、1,890 円（税込）

# 個別の指導計画の作成①

## ● 時期

学期はじめ、あるいは単元取組前

## ● 形態

学級担任による作成

※必要に応じて学年主任や研究主任に相談

## ● 内容

自立活動の視点による指導の目標(ねらい)や指導場面の設定

指導・支援の種類	指導面に関する取組	推進面に関する取組	使用するもの
研修		1 自立活動の基本的な考え方や等についての理解	
個別の指導計画の作成①	1 児童生徒の教育的ニーズに基いた目標の設定 3 個別の指導計画の活用 学校生活の充実や進学を視野とした指導の目標(ねらい)や指導内容、指導場面の設定	2 指導に当たる教員間の指導連携や指導内容、支援方法の共通理解 学年会による、個別の指導計画を活用した、指導場面における目標(具体的な指導内容)、支援方法の検討及び共通理解	・本サイトブック ・特別支援学校 指導内容 解説自立活動 ・指導のねらいや目標に関する指導内容 ・個別の指導計画 ・学年会資料 ・学年会資料
学年会			
個別の指導計画の作成②	1 児童生徒の教育的ニーズに基いた目標の設定 指導場面における目標(具体的な指導内容)、支援方法の設定	2 指導に当たる教員間の指導連携や指導内容、支援方法の共通理解 学年会による、個別の指導計画を活用した、指導場面における目標(具体的な指導内容)、支援方法の検討及び共通理解	・本サイトブック ・特別支援学校 指導内容 解説自立活動 ・指導のねらいや目標に関する指導内容 ・個別の指導計画 ・学年会資料 ・学年会資料
学年会			
実践	2 それぞれの指導形態のよさを生かした指導 3 個別の指導計画の活用	2 指導に当たる教員間の指導連携や指導内容、支援方法の共通理解 学年会による、個別の指導計画を活用した、指導場面における目標(具体的な指導内容)、支援方法の検討及び共通理解	・個別の指導計画 ・本サイトブック ・特別支援学校 指導内容 解説自立活動 ・指導のねらいや目標に関する指導内容 ・個別の指導計画
学年会			
個別の指導計画による評価	3 個別の指導計画の活用 実践に基づいて目標(指導内容、指導内容、指導方法)の評価、学年会や学部への反映		

担任は、前担任から引き継いだ個別の指導計画を見ながら、太郎さんの様子を思い浮かべました。はじめは、太郎さんがまだできないことや、教師の願いを中心に考えていました。しかし、研修会で学んだ児童生徒の立場に立ち、『学校生活の充実』、『自立と社会参加』、『就労実現』ということを出し、他者とのかわりに関する指導内容表を開きました。

他者とのかわりに関する指導内容表には、具体的な指導内容や指導場面、留意事項が書いてあり、実際の場面の中で太郎さんが活動している様子をイメージできました。この他者とのかわりに関する指導内容表を参考にして、太郎さんの指導の目標(ねらい)を整理したり焦点化したりしました。そして、設定した指導の目標(ねらい)を指導する場面(指導形態)について考えました。

学期はじめは、自立活動はもちろんのこと、各教科等の計画も確認しなければなりません。ここでも、学校生活の充実と自立や社会参加の実現の視点とこれまでの様子から、各教科等の目標(具体的な指導内容)を設定しました。そして、各教科等の目標(具体的な指導内容)につなげる支援方法について考えました。最初に、他者とのかわりに関する指導内容表を見ていたこともあり、自立活動の視点で各教科等を考えることができ、それぞれの教科等における支援方法のアイデアが生まれてきました。

自立活動の視点で考えることは、児童生徒の特性に応じた支援につながるということを感じました。

作成上、分からないことや自分の考えがまとまらないときには、放課後に学年主任の先生に声を掛けて相談にのってもらいました。



## Q & A 個別の指導計画を作成するに当たって、気を付けることは何でしょうか？

個別の指導計画を作成するに当たっては、各校で培われてきた様式や作成方法を大切にしましょう。その中で、先輩の先生方から作成の勘所について学んでいくことも必要です。

なお、「個別の指導計画作成ハンドブック」等の書籍や当センターWebページに掲載している資料を参考にすることも考えられます。



「個別の指導計画作成ハンドブック第2版」海津亜希子著 (2011), 日本文化科学社, 1,470円(税込)



# 学年会

## ● 時期

学期はじめ  
単元取組前（個別の指導計画の作成①を済ませた後）

## ● 形態

定期的に行われている学年会

## ● 内容

自立活動の視点による指導の目標（ねらい）や指導場面の検討

## ◆ 実践例

指導・支援の展開	指導面に関する取組	推進面に関する取組	使用するもの
研修		1 自立活動の基本的な考え方等についての理解	・本邦イデオロギ ・特別支援学校 の指導要綱 ・自立活動 編・特別指導 編・指導要綱 ・指導のねらい に関する指 導の指導計画
個別の指導計画の作成①	1 児童生徒の教育的ニーズに即した目標の設定 3 個別の指導計画の活用	2 指導に当たる教員間の指導場面や指導内容、支援方法の共通理解	・本邦イデオロギ ・特別支援学校 の指導要綱 ・自立活動 編・特別指導 編・指導要綱 ・指導のねらい に関する指 導の指導計画
学年会	1 児童生徒の教育的ニーズに即した目標の設定 3 個別の指導計画の活用	2 指導に当たる教員間の指導場面や指導内容、支援方法の共通理解	・本邦イデオロギ ・特別支援学校 の指導要綱 ・自立活動 編・特別指導 編・指導要綱 ・指導のねらい に関する指 導の指導計画
実践	2 それぞれの指導形態のよさを生かした指導 3 個別の指導計画の活用	2 指導に当たる教員間の指導場面や指導内容、支援方法の共通理解	・本邦イデオロギ ・特別支援学校 の指導要綱 ・自立活動 編・特別指導 編・指導要綱 ・指導のねらい に関する指 導の指導計画
個別の指導計画による指導	3 個別の指導計画の活用	2 指導に当たる教員間の指導場面や指導内容、支援方法の共通理解	・本邦イデオロギ ・特別支援学校 の指導要綱 ・自立活動 編・特別指導 編・指導要綱 ・指導のねらい に関する指 導の指導計画

4月第1回目の学年会では、今年度の大まかな流れや学年分掌、学年在籍の児童生徒の様子等について、学年団の教師が共通理解を図りました。

第2回目の学年会では、週案や学年在籍の児童生徒の様子、学年行事、単元について共通理解を図ることに加え、担任が設定した自立活動の視点による指導の目標（ねらい）や指導場面について検討を図る場としました。ただし、学年在籍の児童生徒すべてについて検討することは、時間的に難しいこともあり、個別の指導計画の用紙をもって担任が提案し、学年で検討が必要と思われる児童生徒についてのみ検討を行いました。

個別の指導計画のほかに、児童生徒の様子が分かるこれまでの資料や学年経営案、学級経営案を持ち寄り、必要に応じながら活用しました。

大まかな検討の流れと、太郎さんについての主な話し合いの様子は、以下の通りです。

①担任から、太郎さんの様子についての説明

②担任から、指導の目標（ねらい）、指導場面の提案

③学年団による、指導の目標（ねらい）、指導場面の検討



ほかには、許可を得ないで教室から出て行ったり、友達のものを使ったりすることがあります。

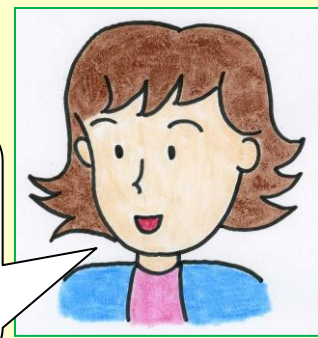
親しい大人には、自分からかわることもありますが、でも、友達とかかわることが少なく、自分の好きなことをしていることが多いです。

身近な人に自分の要求、気持ちを伝えるという指導の目標にしたいと考えています。



太郎さんは、言葉で要求を伝えるタイミングが分からないのではないかな。言葉で要求を伝えることができれば、気付かないうちに教室から出て行くことが少なくなるんじゃないかな。

太郎さんの友達への意識を高めながら、友達と協力して作業することを指導の目標にしたほうがよいのではないのでしょうか。





家庭でも、何も言わ  
ないで家から出て行  
くことがあり、保護者  
も困っているというこ  
とをおっしゃっていま  
した。

本人の学校生活を充実させていく上  
でも、将来のことを考えても、さらに  
は、保護者のニーズも高いことから、  
担任の提案で概ねよいと思います。  
ただし、身近な人とは誰なのか、気  
持ちは何なのか、さらに検討が必  
要ですね。



昼休み時間を指導場面と  
考えていることから、太郎  
さんが、担任に体育館に遊  
びに行きたいということをも  
伝えることがいいかもしれ  
ないですね。  
体育館に行くことができ  
ると、行動へのフィードバック  
にもつながると思います。

#### ④指導の目標（ねらい）、指導場面の決定

指導の目標（ねらい）：身近な人に自分の要求を正しい言葉で伝える。

指導場面：日常生活の指導

#### ⑤学年団による、指導場面における目標（具体的な指導内容）、支援方法の意見交換

### 【児童生徒の行動を評価し、フィードバックする手立てを考えましょう！】

国立特殊教育総合研究所の自閉所プロジェクト研究では、自閉症のある幼児児童生徒の指導内容、指導方法、環境整備の実態や関連する諸課題を明らかにするため、全国調査を実施しました。この調査結果が「自閉症教育実践ケースブック」（2005）の中にまとめられ、以下のように記述されています。詳しくは「自閉症教育実践ケースブック」（2005）をご覧ください。



「自閉症教育実践ケースブック」  
独立行政法人国立特殊教育総合  
研究所編著（2005）、ジアース教  
育新社、1,500円（税込）

重視されている手立てを見ると、視覚的な手掛かりを与えたり、環境を調整したりする手立てが重視されている様子でした。それに比べ、児童生徒の行動を評価し、フィードバックする手立てはあまり重視されていませんでした。

前者の手立ては、自閉症のある児童生徒に理解しやすい状況を作ることにつながります。後者の手立ては、自閉症のある児童生徒の動機付けを高めることにつながります。自閉症のある児童生徒への対応では、理解しやすい状況を作ることとはとても大事なことです。児童生徒の行動を評価し、フィードバックする手立てが提供されることにより、新しい行動が獲得されたり、獲得された行動が維持されたりします。児童生徒の行動を評価し、フィードバックする手立ての重要性について考える必要があります。

「自閉症教育実践ケースブッカーより豊かな指導の追求―」より引用

## 個別の指導計画の作成②

### ● 時期

学期はじめ、あるいは単元取組前

### ● 形態

学級担任が作成

※必要に応じて学年主任や研究主任に相談

### ● 内容

指導場面における目標(具体的な指導内容)、支援方法の設定

### ◆ 実践例①

担任は、学年会での話し合いを踏まえて、太郎さんの生活に結び付けた必然性のある場面を想像して、太郎さんの目標(具体的な指導内容)や支援方法を考えました。目標(具体的な指導内容)を考える際には、自立活動の6区分26項目についても参考にしました。

### ◆ 実践例②

銀河支援学校小学部のT先生は、具体的な指導内容を設定するに当たっての配慮事項◆**自ら環境を整える指導内容**について大切に考え、「写真カードを担当に手渡して二語文による要求を行う」ことになりました。PECS<注1>や応用行動分析の視点も加えながら、次郎さんへの支援方法を設定しました。

同中学部のN先生は、三郎さんの指導の目標等について以下の通り設定しました。N先生は、具体的な指導内容を設定するに当たっての配慮事項◆**主体的に取り組む指導内容**と知的障がい教育の考え方を大切に、生活と結び付けた指導場面や支援方法等を設定しました。

指導の目標	自立活動との関連	指導場面	目標(具体的な指導内容)	支援方法
単元活動に際して、安定した気持ちで繰り返し持続的に取り組む。	2 心理的な安定(1)(2) 3 人間関係の形成(3)	生活単元学習	ツールの製作において、面取り作業を繰り返す。	①豊富な作業量の準備 ②電動工具とスタンド、ガイドの使用 作業姿勢を保持しやすいような椅子の使用 ③加工前後の材料の物理的な流れが一方方向になるような動線の提示

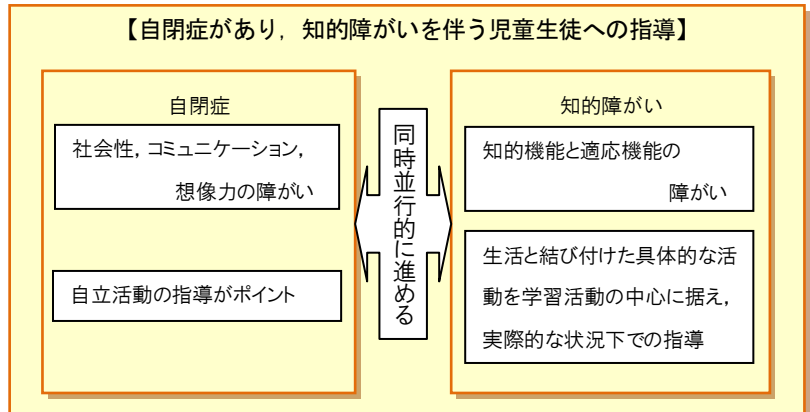
<注1> PECS(Picture Exchange Communication System: 絵カード交換式コミュニケーションシステム) 自閉症やその他のコミュニケーション障がいをもつ子どもから成人の方に、コミュニケーションを自発するように教えるための絵カードを使った代替コミュニケーション方法

## Q & A

### 自閉症を伴う知的障がい？

### 知的障がいを伴う自閉症？

知的障がいのある自閉症を、知的障がいのバリエーションとして対応すべきではないと、国立特別支援教育総合研究所の小塩(2006)は述べています。同所の井上(2011)は、知的障がい教育と自閉症への対応を同時並行的に行っていくことが大切であると語っています。また、小塩は、「構造化は、自閉症へのエチケットである」とも語っています。このことから、自閉症のある児童生徒への指導・支援は、方法論から内容論へ転換していくことが必要なのです。



【井上(2011)を一部改編】

# 学年会

## ● 時期

学期はじめ、あるいは単元取組前

## ● 形態

定期的に行われている学年会

## ● 内容

個別の指導計画を活用した、指導場面における目標(具体的な指導内容)、支援方法の検討及び共通理解

## ◆ 実践例

指導・支援の展開	指導面に関する取組	推進面に関する取組	使用するもの
研修		1 自立活動の基本的な考え方等についての理解 教科書執筆による、アイデアブックを活用した自立活動に関する内容や、個別の指導計画についての理解	・本ガイドブック ・個別支援学校学級指導要領 ・解題自立活動編・指導要領 ・指導上のための学年会に関する指
学年会	1 児童生徒の教育的ニーズに基いた 個別の指導計画の作成① 3 個別の指導計画の活用 学年会での発表や発表発表を見届けた指導の目標(ねらい)や指導内容、指導場面の設定	2 指導に当たる教員間の指導場面や指導内容、支援方法の共通理解 学年会による、個別の指導計画を活用した、指導の目標(ねらい)や指導内容、指導場面の検討及び共通理解	・本ガイドブック ・特別支援学校学級指導要領 ・解題自立活動編 ・指導上のための学年会に関する指
学年会	1 児童生徒の教育的ニーズに基いた 個別の指導計画の作成② 3 個別の指導計画の活用 指導場面における目標(具体的な指導内容)	2 指導に当たる教員間の指導場面や指導内容、支援方法の共通理解 学年会による、個別の指導計画を活用した、指導場面における目標(具体的な指導内容)、支援方法の検討及び共通理解	・本ガイドブック ・特別支援学校学級指導要領 ・解題自立活動編 ・指導上のための学年会に関する指
実践	2 それぞれの指導場面のよさを生かした指導 3 個別の指導計画の活用	2 指導に当たる教員間の指導場面や指導内容、支援方法の共通理解 学年会による、個別の指導計画を活用した、指導場面における目標(具体的な指導内容)、支援方法の検討及び共通理解	・個別の指導計画 ・本ガイドブック ・特別支援学校学級指導要領 ・解題自立活動編 ・指導上のための学年会に関する指
学年会	3 個別の指導計画の活用 個別の指導計画、指導内容、指導場面の評価、上学年・上学年への評価		

第3回目の学年会では、学年在籍の児童生徒の様子や学年行事、単元、週案について共通理解を図ることに加え、担任が設定した指導場面における目標(具体的な指導内容)や支援方法について検討を図りました。

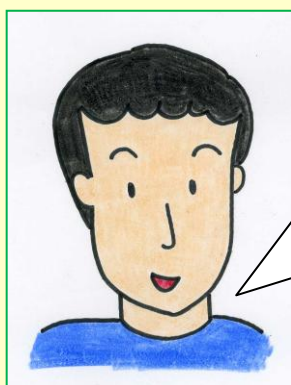
今後の指導・支援においては、学年団の教師が一貫した姿勢で児童生徒にかかわることが必要であることから、担任が作成した個別の指導計画の用紙を全員分読みあいました。ただし、前回に続いて、学年在籍の児童生徒すべてについて検討することは、時間的に難しいことから、学年で検討が必要と思われる児童生徒についてのみ指導場面における目標等の検討を行い、共通理解も図りました。

大まかな検討の流れと、太郎さんについての主な話し合いの様子は、以下の通りです。

### ①担任から、指導場面における目標(具体的な指導内容)、支援方法の提案

### ②学年団による、指導場面における目標(具体的な指導内容)、支援方法の検討

※話し合いをする中で、担任が知り得ていなかった様子、担任以外の教師が知り得ていなかった様子を交流することにつながりました。また、具体的な支援方法を考えていくことにもつながりました。



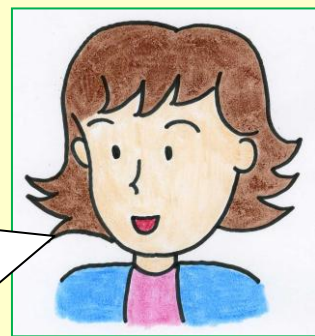
太郎さんって、昼休み時間に体育館に行くことが多いけど、1年生の教室に行くこともあるよね。そのことも考えておかなければいけないかもね。

昼休み時間、担任の問い掛けを聞いて、どこに行つて遊びたいかを言葉で伝えることを目標と考えました。  
支援方法については、主に活動の流れを一定にすることで、言語的プロンプト(へ注2)を用いることを考えました。



そうですね。カードは準備しておきますが、実践しながら使うかどうか考えていきます。

太郎さんは、言語的プロンプトもよいけれども、視覚的なカードを使うこともいいと思うよ。



〈注2〉プロンプト：手掛かり



### ③指導場面における目標（具体的な指導内容）、支援方法の決定と共通理解

◆指導の目標（ねらい）			
指導の目標（ねらい）		評 価	
・身近な人に自分の要求を正しい言葉で伝える。			
自立活動の内容			
指導内容表：意思や感情の共有「言語による表出」			
学習指導要領：3（2）、6（2）			
◆学習の記録			
	目標（具体的な指導内容）	支援方法	評 価
日常生活の指導	・昼休み時間、担任に「体育館に行きます」と言葉で伝える。	・遊びに行きたい要求場面において、自発的な言語による要求を促す。 ・教師から「どこに行き遊びますか」と尋ね、太郎さんが「体育館に行きます」と答えるまで待つ。太郎さんが言葉に詰まる場合には、「体育館」「体」などと言ってヒントを与える。	
	・単元「コースターを作ろう」では、友達と作業を分担し、卓上織機を使いコースターを20枚織る。	・太郎さんが扱いやすい卓上織機を用意する。 ・裂いた布の先にテープを付けるなどして、織機の縦糸に交互に通すことができるよう	

※個別の指導計画から一部抜粋

## Step 1 指導の目標（ねらい）

児童生徒の実態把握を基に、目標を整理し焦点化しましょう。

## Step 2 指導の場面

指導の目標（ねらい）を指導する場面を設定しましょう。それぞれの指導の形態そのもののねらいを大切にしながら必然性のある流れで指導することが大切です。特設した時間での指導で設定する場合でも、生活場面と結び付けるなど留意しましょう。

## Step 3 指導の場面における目標（具体的な指導内容）

指導の目標（ねらい）を具体的な活動レベルで設定しましょう。自立活動の6区分26項目を参考にしながら、どのような場面での活動なのか、どのような指導内容が盛り込まれているのかなどを明確にし、具体的に設定することが大切です。

## Step 4 支援方法

支援方法を設定しましょう。支援方法については、以下のことを盛り込むことが必要です。また、活動につながったときの手立て、活動につながらないときの手立てについても検討しておくことが大切です。

- ① 活動や内容そのものとしての手立て
- ② 場の設定などの手立て
- ③ 教師等のかかわりとしての手立て



# 実践

## ● 時期

単元取組期間中

## ● 形態

それぞれの指導形態

## ● 内容

個別の指導計画に基づいた実践

## ◆ 実践例

指導・支援の場面	指導面に関する取組	推進面に関する取組	使用するもの
研修		1 自立活動の基本研修等への参加 校の研修等による、ガイドブック等を活用した自立活動に関する内容や個別の指導計画についての研修	・本ガイドブック ・特別支援学校 教諭等 ・児童自立活動 編 ・生活指導 編 ・指導者のための 手帳に関する指 導内容表 ・個別の指導計画
学年会	1 児童生徒の教育的ニーズに即した 目標の設定 3 個別の指導計画の活用 学年会による、個別の指導計画を活用した、指導の目標（具体的な指導内容、指導方法の検討及び共通理解）	2 指導に当たる教員の指導場面や 指導内容、支援方法の共通理解 学年会による、個別の指導計画を活用した、指導の目標（具体的な指導内容、支援方法の検討及び共通理解）	・本ガイドブック ・特別支援学校 教諭等 ・児童自立活動 編 ・指導者のための 手帳に関する指 導内容表 ・個別の指導計画
学年会	1 児童生徒の教育的ニーズに即した 目標の設定 3 個別の指導計画の活用 学年会による、個別の指導計画を活用した、指導の目標（具体的な指導内容、支援方法の検討及び共通理解）	2 指導に当たる教員の指導場面や 指導内容、支援方法の共通理解 学年会による、個別の指導計画を活用した、指導の目標（具体的な指導内容、支援方法の検討及び共通理解）	・本ガイドブック ・特別支援学校 教諭等 ・児童自立活動 編 ・指導者のための 手帳に関する指 導内容表 ・個別の指導計画
実践	2 それぞれの指導形態による実践 3 個別の指導計画の活用		・個別の指導計画
学年会	3 個別の指導計画の活用 実践に基づき、目標、指導場面、指導内容、指導方法の研修、上学年や上 学期への引継	2 指導に当たる教員の指導場面や 指導内容、支援方法の共通理解 学年会による、個別の指導計画を活用した、指導の目標（具体的な指導内容、支援方法の検討及び共通理解）	・本ガイドブック ・特別支援学校 教諭等 ・児童自立活動 編 ・指導者のための 手帳に関する指 導内容表 ・個別の指導計画
個別の指導計画 による実践			

事前に学年会で児童生徒の指導場面における目標(具体的な指導内容)や支援方法についての共通理解を図ったことにより、学年団の教師が一貫した姿勢で児童生徒にかかわることができました。また、日常的に児童生徒の様子や指導・支援について話し合われるようになりました。太郎さんへの指導実践例については、以下の通りです。

担任は、太郎さんが歯磨きを終わったことを確認  
担任は、太郎さんの正面に立つ  
**担任「どこに行き遊びますか。」**  
太郎さんは、担任の顔を見る  
口は動くが、声が出ない  
**太郎さん「・・・」**  
副担任が太郎さんの背後から「体(たい)」と言う  
**副担任「体(たい)」**

太郎さんは、副担任の「体(たい)」という声の方向に体を向け、担任の方向に体を戻す  
**太郎さん「体育館に行きます。」**  
担任は、太郎さんの顔を見て微笑む  
**担任「行ってらっしゃい。」**  
太郎さんは、笑顔で担任とタッチをする  
**太郎さん「行きます。」**

意気揚々と体育館に向かう太郎さん



## ◆ 他の学級の実践例

中学部「ベーグル作り」を通した  
他者とのかわりに関する指導



生活と結び付けた  
実際的な活動  
を通した指導  
↓  
生活単元学習

小学部「PECSの指導」「日常生活」を通した  
他者とのかわりに関する指導



時間を特設して  
の指導を基本に  
し、生活に結び付  
けていく指導を  
加える  
↓  
自立活動の時間  
日常生活の指導

# 学年会

## ● 時期

単元取組期間中

## ● 形態

定期的に行われている学年会

## ● 内容

指導場面における目標(具体的な指導内容), 支援方法の確認と修正

指導・支援の種類	指導場に関する取組	進達面に関する取組	使用するもの
研修		1 自立活動の基本的な考え方や等についての理解 2 児童生活の教育的二一に基いた目標の設定 3 個別の指導計画の活用	本ガイドブック 特別支援学校 学習指導要領 個別化自立活動 解読自立活動 指導の中心のりに関する指導内容表 個別の指導計画
学年会		2 指導に当たる教師間の指導場面や指導内容、支援方法の共通理解 学年会による、個別の指導計画を活用した、指導の目標(具体的な指導内容)、指導方法の検討及び共通理解	本ガイドブック 特別支援学校 学習指導要領 個別化自立活動 指導の中心のりに関する指導内容表 個別の指導計画
学年会		3 個別の指導計画の活用	本ガイドブック 特別支援学校 学習指導要領 個別化自立活動 指導の中心のりに関する指導内容表 個別の指導計画
実践		2 指導に当たる教師間の指導場面や指導内容、支援方法の共通理解 学年会による、個別の指導計画を活用した、指導場面における目標(具体的な指導内容)、支援方法の検討及び共通理解	本ガイドブック 特別支援学校 学習指導要領 個別化自立活動 指導の中心のりに関する指導内容表 個別の指導計画
学年会		3 個別の指導計画の活用	本ガイドブック 特別支援学校 学習指導要領 個別化自立活動 指導の中心のりに関する指導内容表 個別の指導計画
個別の指導計画による評価			

## ◆ 実践例

実践開始2週間後の学年会では、学年在籍の児童生徒の様子や学年行事、単元、週案について共通理解を図りました。

また、実践開始3週間後の学年会では、学年在籍の児童生徒の様子や学年行事、単元、週案について共通理解を図ることに加えて、児童生徒への指導場面を撮影した映像を見ながら、担任が設定した指導場面における目標(具体的な指導内容)や支援方法について検討しました。

学年団の教師が一貫した姿勢で児童生徒にかかわってきたことにより、児童生徒についての話し合いが盛り上がりました。

大まかな検討の流れと、太郎さんについての主な話し合いの様子は、以下の通りです。

### 〈2週間後の学年会〉

#### ①担任から、太郎さんの様子についての説明

#### ②学年団による、太郎さんの様子についての確認

太郎さんこの頃、調子いいね。太郎さんへの指導の様子を見てみたいなあ。

活動の流れを一定にして、言語的プロンプトを用いたことで、太郎さんから『体育館』とか『体育館、行く』と話すようになってきました！

5時間目はイライラして集中できませんでした。事前には、朝の会で伝えておきたいと思います。

月曜日、中学部の学部集会の準備があつて、昼休み時間に体育館で遊べなかつたよね。太郎さん怒っちゃって。中学部のJ先生に注意されて教室に連れ戻される太郎さんを見て、悲しかったわ。

### 〈3週間後の学年会〉

①担任から、指導場面を撮影した映像を見ながら、児童生徒の様子についての説明

②学年団による、指導場面における目標（具体的な指導内容）、支援方法の検討

先週から、昼休み時間に1年生の教室に行って、1年生の子と一緒にビデオを見て過ごすようになりました。K先生に『ビデオが見たいです』という言葉で伝えられるようになってきているそうです。

副担任の促しが必要な時もありますが、太郎さんは『体育館に行ってきます。』と話しています。

指導の様子をVTRに撮ってきてくれたので、太郎さんと先生とのやりとりが分かりやすいね。

そうそう、これだと支援方法について具体的に話し合えるね。ちょうど聞きたいんだけど、先生からの働き掛けが無くて、太郎さんは『体育館に行ってくる』って言うのかなあ？

え〜っと、まだ試したことありません。

周囲からの働き掛けが無くて、自分から周囲の人に支援を求めることができるようになるまで、先生に働き掛けを段階的に減らしてもいいんじゃないかな。

**指導場面における目標（具体的な指導内容）、支援方法の修正**  
 目標、支援方法を継続する。ただし、段階的に言語的プロンプトの量を減らしたりタイミングを変えたりする。

### 参考 Web ページ

#### 国立特別支援教育総合研究所

これまでの研究成果や、セミナーの情報等が掲載されています。また、同研究所の発達障害教育情報センターのページへリンクすることができます。研修講義の動画を見たり、指導の参考になるガイドブックを探したりと日常の指導・支援や研修会等に役立つ Web ページです。



## 個別の指導計画による評価

### ● 時期

単元取組後

### ● 形態

定期的に行われている学年会

### ● 内容

児童生徒の様子や指導内容、支援方法の評価の確認  
 年度末は、目標、指導場面、指導内容、支援方法の評価、  
 上学年や上学部への引き継ぎ

指導・支援の展開	指導面に関する取組	支援面に関する取組	使用するもの
研修		1 自己気持の基本的な考え方や ついての理解 校内研修等による、アイデアブック を活用した自主活動に関する内容や 個別の指導計画についての理解	・アイデアブック ・特別支援学校等 関係者等 解読自主活動 ・指導内容の 引き継ぎ ・個別の指導計画
個別の指導計画の 作成①	1 児童生徒の教育的ニーズに即した 目標の設定 2 個別の指導計画の使用 学年生活の先立や実学実感を基 とした指導の目標（ほらいうや指導内容、 指導場面の設定	2 指導に当たる教師間の指導場面や 指導内容、支援方法の共通理解 学年会による、個別の指導計画を基 とした、指導場面における目標（具 体的な指導内容）、支援方法の検討及び 共通理解	・アイデアブック ・特別支援学校等 関係者等 解読自主活動 ・指導内容の 引き継ぎ ・個別の指導計画
学年会	1 児童生徒の教育的ニーズに即した 目標の設定 3 個別の指導計画の使用 指導場面における目標（具体的な指 導内容）、支援方法の設定	2 指導に当たる教師間の指導場面や 指導内容、支援方法の共通理解 学年会による、個別の指導計画を基 とした、指導場面における目標（具 体的な指導内容）、支援方法の検討及び 共通理解	・アイデアブック ・特別支援学校等 関係者等 解読自主活動 ・指導内容の 引き継ぎ ・個別の指導計画
学年会	2 それぞれの指導形態のよきを生か した指導 3 個別の指導計画の使用	2 指導に当たる教師間の指導場面や 指導内容、支援方法の共通理解 学年会による、個別の指導計画を基 とした、指導場面における目標（具 体的な指導内容）、支援方法の検討及び 共通理解	・アイデアブック ・特別支援学校等 関係者等 解読自主活動 ・指導内容の 引き継ぎ ・個別の指導計画
実践			
学年会	3 個別の指導計画の使用 実践に基づき、目標、指導場面、指 導内容、指導方法の検討、上学年や上 学部への引き継ぎ		
個別の指導計画 による評価			

### ◆ 実践例

担任が評価した個別の指導計画を用いて児童生徒の様子や目標（具体的な指導内容）、支援方法の評価について確認しました。また、評価を受けて、今後の児童生徒の目標（具体的な指導内容）や支援方法について検討しました。

大まかな検討の流れと、太郎さんについての主な話し合いの様子は、以下の通りです。

#### ①担任から、太郎さんの評価についての説明

#### ②学年団による、太郎さんの様子や指導内容、支援方法の確認

家庭からの連絡帳に、『週末になるとパパに、お寿司行きます。と催促していますが、家族みんなの楽しみになりました。』と書いてありました。

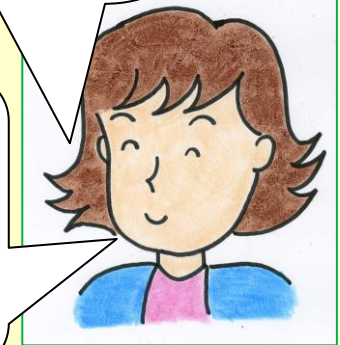
学校生活の様々な場面において、『○○に行きたいです』『○○が欲しいです』など、自分の要求を言葉で伝えられるようになりました。

太郎さんの様子を見ながら、段階的に教師からの働き掛けを減らしました。自分から『体育館に行つてきます』『1年生の教室に行つてきます。』と伝えてから遊びに行っています。



年度始めは声を掛けても反応してくれなかったけど、今では反応してくれるようになったよ。この前の休みにコンビニでばったり会ったけれども、太郎さんからあいさつされてうれしかったなあ。

今まで、太郎さんは断りもせずに教室に入ってきたり、欲しい物を手に取ったりしていたよね。でも最近は、教師の顔を見たり、間をとったりしながら行動しているよね。



太郎さんもだけど、自分の学級の子どものことについて学年会などで話し合いながらの取組は、良かったよね。チームで取り組んだから、とっても心強かったわ。

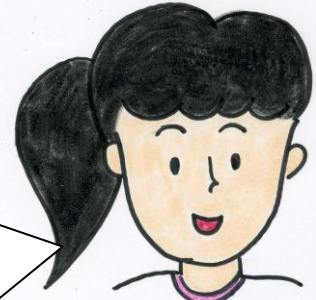
③担任から、次の学期の指導場面、目標（具体的な指導内容）、支援方法の提案

④学年団による、指導場面、目標（具体的な指導内容）、支援方法の検討



先生の太郎さんへの期待の高さが伝わってくる目標だね。でも、要求する度に『いいですか』って許可の確認を言わせることで、太郎さんにとって負担にならないかなあ。

活動を広げたいし、要求だけではなく、許可を求めることができるようになって欲しいです。そこで、行きたい場所があるときには教師に「〇〇に行きたいです。行ってもいいですか。」と言葉で伝えることを目標と考えました。支援方法は、言語的プロンプトと視覚的なカードを併用していきたいです。



目標を絞ったほうがよいと思うよ。そのほうが支援方法も具体的に設定できし、みんなでの検討もしやすいと思うよ。

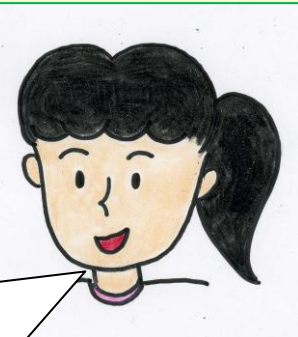


私も目標は絞って考えたほうがよいと思います。場の広がりやかかわる人の広がりも含めながら自立活動の視点を踏まえて、目標を考え直してみませんか。



子どもたちを中心に据えた話し合いによって、目標や支援方法が精選されることや、PDCAサイクルによる指導の重要性について、実践を通して実感することができましたね。話し合いを通して指導に生かしていくことは、学年会だけではなく、学部会でも行っていくといいかもしれませんね。

確かに、そうですね。絞ってみます。その方が、目標も手立ても具体的になると思います。



【資料1】

# 他者とのかかわりに関する指導内容表

【視点・指導の目標(ねらい)・自立活動との関連】

視 点	他者の理解に基づいた行動	自己の理解に基づいた行動	意思や感情の共有	集団活動への参加
指導の目標(ねらい)	言葉や表情, 身振りなどから教師や友達等の意図や感情を理解し行動する	自分の特徴などを理解し, 集団の中で, 自分の気持ちや感情をコントロールして状況に応じて行動を選択・決定・実行する	言葉などのコミュニケーション手段により, 教師や友達等の意思や感情を受け止めたり, 場や相手等の状況に応じて, 自分の意思や感情を伝えたりする	集団の雰囲気に合わせたり, 集団に参加するための手順やきまりを理解したりして, 集団活動に参加する
自立活動との関連	2 心理的な安定(1)~(3) 3 人間関係の形成(1)(2) 6 コミュニケーション(1)~(5)	2 心理的な安定(1)~(3) 3 人間関係の形成(3) 4 環境の把握(2) 6 コミュニケーション(1)~(5)	2 心理的な安定(1)~(3) 3 人間関係の形成(2) 6 コミュニケーション(1)~(5)	2 心理的な安定(1)~(3) 3 人間関係の形成(4) 6 コミュニケーション(1)~(5)

【指導形態ごとの取組の基本方針】

指導形態	基本方針
領域・教科を合わせた指導	領域・教科を合わせた指導そのもののねらいを大切にしながら, 生活に結び付いた具体的な活動の中で, 必然性のある流れの中で指導する。
教科別・領域別の指導	教科別・領域別の指導そのもののねらいを大切にしながら, 教科別・領域別の指導における指導内容を習得することができるようにすることを第一義とし, 必然性のある流れの中で指導する。
自立活動を特設しての指導	領域・教科を合わせた指導や日常的に繰り返される活動, あるいは, 今後体験するであろう活動に向けて, 児童生徒の目的意識を大切にしながら, 自立活動を特設しての指導の学習内容や学習活動を意味付け・価値付けながら指導する。 特設した指導を行う際に考慮する点は, 以下の通りである。 ◆学校生活や地域生活と結び付けた指導内容 ◆学校生活や地域生活等の実際の場面における学習活動 ◆発達の進んでいる側面のさらなる促進 ◆自ら環境を整えたり, 周囲の人に支援を求めたりする場面の設定

【自立活動との関連及び指導内容】

他者の理解に基づいた行動

【ねらい】

- ・人に対する基本的な信頼感をもち、他者からの働き掛けを受け止め、それに応ずることができる。
- ・他者の意図や感情を理解し、場に応じた適切な行動をとる。

\*自立活動との関連： 2心理的な安定(1)～(3)， 3人間関係の形成(1)(2)， 6コミュニケーション(1)～(5)

指導内容	具体的指導内容	指導場面例
身近な人の理解	<ul style="list-style-type: none"> <li>・身近な人を認識する。</li> <li>・身近な人にあいさつをする。</li> <li>・身近な人とコミュニケーションをとる。</li> <li>・身近な人のためになることに取り組む。</li> </ul>	<p>【領域・教科を合わせた指導における指導場面例】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・朝の会などにおける教師や友達とかかわる場面</li> <li>・遊びにおける教師や友達とかかわる場面</li> <li>・校外での買い物における店員とかかわる場面</li> <li>・バザーなどでの販売活動における客とかかわる場面</li> <li>・仕事や実習における教師や職場の人・友達とかかわる場面等</li> </ul>
異性の理解	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分の性が分かる。</li> <li>・性の違いが分かる。</li> <li>・性の違いによる得手不得手が分かる。</li> </ul>	
他者の意図や感情の理解	<ul style="list-style-type: none"> <li>・他者の表情の違いが分かる。</li> <li>・他者の表情を類別する。</li> <li>・自分の行動と他者の表情の関係が分かる。</li> <li>・他者の話す文脈や抑揚、身振り等から意図や感情を理解する。</li> <li>・他者の表情、他者の話す文脈や抑揚、身振り等から意図や感情を理解し行動をとる。</li> <li>・文脈や抑揚、身振り等を意図的に表し、他者とかかわる。</li> </ul>	<p>【教科別・領域別の指導における指導場面例】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学習活動における教師や友達とかかわる場面等</li> </ul> <p>【特設しての指導場面例】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学習場面における教師や友達とかかわる場面</li> <li>・他者のしぐさ、表情、態度などから考えを推測する活動</li> </ul> <p>〈指導上の留意点〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>*他者とかかわりをもとうとするが、その方法が十分に身に付いていない自閉症のある児童生徒の場合には、まず、直接的に指導を担当する教師を決めるなどして、教師との安定した関係を形成することが大切である。そして、やりとりの方法を大きく変えずに繰り返し指導するなどして、そのやりとりの方法が定着するようにし、相互にかかわり合う素地を作ることが重要である。やりとりの方法を少しずつ増やしていくが、その際、言葉だけでなく、具体的な視覚的な情報を加えて分かりやすくすることも大切である。</li> <li>*自閉症のある児童生徒は、言葉や表情、身振りなどを総合的に判断して相手の心の状態を読み取り、それに応じて行動することが困難な場合がある。また、言葉を字義通りに受け止めてしまうため、行動や表情に表れている相手の真意を読み取れないこともある。そこで、生活の様々な場面を想定し、そこでの相手の言葉や表情などから、立場や考えを推測するような指導を通して、相手とかかわる際の具体的な方法を身に付けることが大切である。</li> </ul>
他者の性格理解	<ul style="list-style-type: none"> <li>・他者の性格の大よそが分かる。</li> <li>・他者の性格を表現（色・イメージ絵・言語化）する。</li> <li>・他者の性格に応じた行動をとる。</li> </ul>	
対人スキル	<ul style="list-style-type: none"> <li>・親しい人に微笑みかける。</li> <li>・相手に不快な思いをさせる行動をしない。</li> <li>・善悪を判断して行動する。</li> <li>・人の物を断ってから借りる。</li> <li>・自分が悪いときに謝罪する。</li> <li>・自分のよさを発揮する。</li> <li>・自分のよさをアピールする。</li> <li>・適度な距離で人と接する。</li> <li>・時間を守って行動する。</li> <li>・異性と適切にかかわる（過度な意識や、馴れ馴れしさ、つきまとい等をしない）。</li> <li>・他者との対立に対して、定型的な解決方法をとる。</li> <li>・他者との関係を理解する。</li> </ul>	

## 自己の理解に基づいた行動

### 【ねらい】

- ・安定した情緒の下で生活できる。
- ・場所や場面の状況を理解して心理的抵抗を軽減したり、変化する状況を理解したりして適切に対応する。
- ・自分の障がいの状態を理解したり、受容したりして、積極的に障がいによる学習上又は生活上の困難を改善・克服しようとする意欲の向上を図る。
- ・自分の得意なことや不得意なこと、自分の行動の特徴などを理解し、集団の中で状況に応じた行動ができる。
- ・自分の気持ちや情緒をコントロールして変化する状況に適切に対応するとともに、障がいによる学習上又は生活上の困難を改善・克服する意欲の向上を図る。

\*自立活動との関連：2 心理的な安定(1)～(3)、3 人間関係の形成(3)、4 環境の把握(2)、6 コミュニケーション(1)～(5)

指導内容	具体的指導内容	指導場面例
環境要因の把握	<ul style="list-style-type: none"> <li>・快刺激が分かる。</li> <li>・不快刺激が分かる。</li> <li>・不快刺激を回避・除去する。</li> </ul>	<p>【領域・教科を合わせた指導における指導場面例】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・仕事や実習場面</li> <li>・校外での買い物やレストランでの食事の場面</li> <li>・自分の欲しい物や食べたい物を伝える場面等</li> </ul>
身体意識	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ボディイメージを育てる活動をする。</li> <li>・身体各部の動きが分かる。</li> <li>・身体各部の動きから用途が分かる。</li> <li>・身体各部のそれぞれがどの位置に存在するのかが分かる。</li> <li>・他者の動きを見て模倣する。</li> </ul>	<p>【教科別・領域別の指導における指導場面例】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・全校朝会等の集会活動や運動会、学習発表会等における、安定して取り組める場面</li> <li>・気持ちや情緒のコントロールが必要であると思われる、本人にとって不得意な場面</li> </ul>
性格	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分が認められていることが分かる。</li> <li>・自分が認められている性格が分かる。</li> <li>・怒ってしまう原因が分かる。</li> <li>・怒ってしまう原因を除去したり、原因を回避したりする。</li> <li>・怒ってしまう刺激に対して、別刺激で対抗する。</li> <li>・他者の好きなのが分かる。</li> <li>・他者の好きなところを真似る。</li> </ul>	<p>【特設しての指導場面例】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・感情の認知やコントロールについて学ぶ活動 (表情カードを使用し、色々な感情について知る。自分の感情と表情カードのマッチングをする)</li> </ul> <p>〈指導上の留意点〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>*自閉症のある児童生徒は、自分の行動を注意されたときに、反発して興奮を静められなくなることがある。このような場合には、自分を落ち着かせることができる場所に移動してその興奮を沈めることや、いったんその場を離れて深呼吸するなどの方法があることを教え、それらを実際に行うことができるように指導することが大切である。</li> <li>*自閉症のある児童生徒は、例えば、書き取りの練習を繰り返して行っても、期待したほどの成果が得られなかったなどの経験から、生活全体においても自信を失っている場合がある。そのため自らの失敗に対して感情的になり、情緒が不安定になることがある。このような場合には、本人が得意なことを生かして課題をやり遂げるように指導し、成功したことを褒めることで自信をもたせたり、自分のよさに気付くことができるようにしたりすることが必要である。</li> <li>*自閉症のある児童生徒は、予告なしに行われる避難訓練や、急な予定の変更などに対応することができず、混乱したり、不安になったりして、どのように行動したらよいか分からなくなることがある。このような場合には、予想される事態や状況を予告したり、事前に体験できる機会を設定したりすることなどが必要である。</li> <li>*自閉症のある児童生徒は、計算の仕方などを覚える</li> </ul>
くせ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分のくせが分かる。</li> <li>・他者のくせが分かる。</li> <li>・他者からの刺激でくせを止める。</li> <li>・自分で別刺激を与えてくせを止める。</li> <li>・社会的に許容されるくせへ変える。</li> </ul>	
自分らしさ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・得意なことが分かる。</li> <li>・得意なことよっての利益が分かる。</li> <li>・得意なことを何度もやってみる。</li> <li>・得意なことを使って理解や行動を広げる。</li> <li>・苦手なことが分かる。</li> <li>・苦手なことよっての不利益が分かる。</li> <li>・苦手なことの代替法やサポートが分かる。</li> <li>・苦手なことに対して得意なことを使って代替える。</li> </ul>	
服装・食べ物等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・服装の違い(色・模様・ライン等)や食べ物等の違いが分かる。</li> <li>・自分の好む服装や食べ物等が分かる。</li> <li>・自分の好きな服装や食べ物等を概略的に表現する。</li> </ul>	



	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分の好きな服装をしたり、食べ物を食べたりする。</li> <li>・自分の好きな服装をしたり、食べ物を食べたりしたときの他者の反応を感じる。</li> <li>・他者の反応から、自分の好きな服装や食べ物等を省みる。</li> </ul>	<p>ことが他の人と比較して時間がかかることなどに気付いても、それを自分自身の努力不足によるものと思込んでいる場合がある。このような場合には、自分の得意な面と不得意な面を知り、その得意な面を活用することで、困難を克服することができるということを経験することが大切である。</p>
<p>ストレスマネジメント</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ストレスフルな状態が分かる。</li> <li>・ストレスサーが分かる。</li> <li>・ストレスサーを回避・除去する。</li> <li>・ストレスフルな状態でのクールダウンの方法が分かる。</li> <li>・ストレスフルな状態でクールダウンする。</li> <li>・ストレスフルになる前にクールダウンする。</li> <li>・クールダウンを活動に位置付けて取り組む。</li> </ul>	<p>*自閉症のある児童生徒は状況にそぐわない行動をすることがあるために友達に受け入れられず、集団参加が難しい場合がある。このような場合は、状況に合わせて行動することが自分は不得意であることを理解し、行動する前に周囲の状況を観察したり、状況を理解するゆとりをもつようにしたりする態度を身に付けることが必要である。その際には、ロールプレイのように、できるだけ具体的な状況を設定して指導することが大切である。</p>
<p>注意・集中</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・支援により、注意を集中することができる。</li> <li>・興味のあることについて、自分で注意を集中する。</li> <li>・興味のないことでも、注意を集中しようとする。</li> <li>・注意を集中し、落ち着いて行動する。</li> </ul>	<p>*自閉症のある児童生徒の場合、聴覚の過敏さのため特定の音に、また、触覚の過敏さのため身体接触や衣服の材質に強く不快感を抱くことが見られる。それらの刺激が強すぎたり、突然であったりすると、混乱状態に陥ることもある。そこで、不快である音や感触などを自ら避けたり、児童生徒の状態に応じて、それらに少しずつ慣れていったりするように指導することが大切である。なお、児童生徒にとって不快な刺激も、別な児童生徒にとっては快刺激である場合もある。したがって、個々の児童生徒にとって、快刺激は何か、不快刺激は何かをきめ細かく観察して把握しておく必要がある。</p>
<p>困難・葛藤場面等での対応</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・困難・葛藤場面で緊張しないような手立てをとる。</li> <li>・困難・葛藤場面で緊張しないで活動する。</li> <li>・集団と活動の場を同じくする。</li> <li>・集団と共に活動する。</li> <li>・集団内で緊張しないような手立てをとる。</li> <li>・集団で緊張しないで活動する。</li> <li>・特定の場所や慣れていない場所に緊張しないような手立てをとる。</li> <li>・特定の場所や慣れていない場所に緊張しないで活動する。</li> </ul>	
<p>感情・行動の制御</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ゲームにおいて自分の負けを受け入れる。</li> <li>・感情的になる場面において、相手の気持ちを損ねない発散をする。</li> <li>・感情的になる場面において、気持ちを切り替える。</li> </ul>	
<p>自己選択・決定</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・場に応じながら、自分の好きなものを伝える。</li> <li>・複数の活動や課題の中から選択する。</li> <li>・場に応じながら、自分のやりたい活動や課題を伝える。</li> </ul>	

## 意思や感情の共有

### 【ねらい】

- ・表情や身振り，各種の機器などを用いた意思のやりとりをする。
- ・話し言葉や各種の文字・記号等を用いて，相手の意思や感情を受け止めたり，自分の意思や感情を伝えたりする。
- ・言語の概念の形成を図り，体系的な言語を身に付ける。
- ・コミュニケーション手段を適切に選択・活用し，コミュニケーションを円滑にする。
- ・場や相手の状況に応じて，主体的なコミュニケーションをする。

\* 自立活動との関連： 2 心理的な安定(1)～(3)， 3 人間関係の形成(2)， 6 コミュニケーション(1)～(5)

指導内容	具体的指導内容	指導場面例
視覚・動作等の理解	<ul style="list-style-type: none"> <li>・絵カード等と事物名称や活動が一致する。</li> <li>・シンボルの見分けがつく（トイレ表示，非常口等）。</li> <li>・サインが分かる。</li> <li>・上中下・前後・左右などを理解して動作する。</li> <li>・文字の見分けがつく（名前，駅名等）。</li> <li>・「非常口」「立入禁止」「男」「女」などの表示を理解する。</li> <li>・ひらがなの文章を読む。</li> <li>・絵本や漫画を読む。</li> <li>・簡単な雑誌や漫画を読む。</li> <li>・漢字の混ざった本を読む。</li> </ul>	<p>【領域・教科を合わせた指導における指導場面例】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学校給食の食事におけるおかわりや食べたくない（物）を伝える場面</li> <li>・集会におけるプレゼントや調理したものを渡す場面</li> <li>・仕事や実習場面における作業内容を聞く，返事をする，作業の終了報告をする，依頼する，訴える場面</li> <li>・昼休み時間における自分なりの過ごし方を伝える場面や絵本や遊具などの貸し借りをする場面等</li> </ul> <p>【教科別・領域別の指導における指導場面例】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学部集会における発表場面</li> <li>・児童会活動・生徒会活動における発表場面</li> <li>・学習活動における発表場面や自分の意思を伝える場面等</li> </ul> <p>【特設しての指導場面例】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・意思を伝える活動</li> <li>・発表するときのスキルを学ぶ活動 （適切な声の大きさ，発表するときの姿勢，まとめてから話す）</li> <li>・話し掛けるときのスキルを学ぶ活動 （話し掛けるときは相手に近づく，相手を見る，適切な声の大ききで話す）</li> <li>・言葉が人に与える影響を学ぶ活動 （あたたかい言葉掛けとチクチクする言葉掛けの概念，意義を知る，弁別する，チクチクする言葉のコントロールとあたたかい言葉の習得）</li> <li>・会話のマナーを学ぶ活動 （会話のマナーを具体的に知る，マナーを意識して会話する）</li> <li>・感謝を言葉で表現する体験をする活動 （仲間との出来事を振り返る，仲間へ肯定的なメッセージを送る）</li> </ul>
言語指示の理解	<ul style="list-style-type: none"> <li>・他者からの働き掛けに応じる。</li> <li>・指示を聞く様子が見られる。</li> <li>・指示の一部を受け入れて行動する。</li> <li>・一つの指示を受け入れて行動する。</li> <li>・二つの指示を受け入れて行動する。</li> <li>・「もし～なら〇〇になる。もし～でないなら△△になる」という判断を必要とする指示を理解する。</li> <li>・指示に隠されている行動を考えて行動する。</li> <li>・場面を考えながら，指示を受け入れて行動する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・話し掛けるときのスキルを学ぶ活動 （話し掛けるときは相手に近づく，相手を見る，適切な声の大ききで話す）</li> <li>・言葉が人に与える影響を学ぶ活動 （あたたかい言葉掛けとチクチクする言葉掛けの概念，意義を知る，弁別する，チクチクする言葉のコントロールとあたたかい言葉の習得）</li> <li>・会話のマナーを学ぶ活動 （会話のマナーを具体的に知る，マナーを意識して会話する）</li> <li>・感謝を言葉で表現する体験をする活動 （仲間との出来事を振り返る，仲間へ肯定的なメッセージを送る）</li> </ul>
聞き方	<ul style="list-style-type: none"> <li>・適度に視線を合わせて話を聞く。</li> <li>・相手の話をさえぎることなく聞く。</li> <li>・相手の話に関心を示しながら聞く。</li> <li>・タイミングよく，うなずきながら聞く。</li> <li>・相手の悩みや不満を共感しながら聞く。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・話し掛けるときのスキルを学ぶ活動 （話し掛けるときは相手に近づく，相手を見る，適切な声の大ききで話す）</li> <li>・言葉が人に与える影響を学ぶ活動 （あたたかい言葉掛けとチクチクする言葉掛けの概念，意義を知る，弁別する，チクチクする言葉のコントロールとあたたかい言葉の習得）</li> <li>・会話のマナーを学ぶ活動 （会話のマナーを具体的に知る，マナーを意識して会話する）</li> <li>・感謝を言葉で表現する体験をする活動 （仲間との出来事を振り返る，仲間へ肯定的なメッセージを送る）</li> </ul>
視覚・動作等による表出	<ul style="list-style-type: none"> <li>・絵カード等により表現する。</li> <li>・要求サインにより表現する。</li> <li>・ひらがなを書いて表現する。</li> <li>・短い文章をメモに書く。</li> <li>・短い文章やイラストを書く。</li> <li>・簡単な分かりやすい文章を書く。</li> <li>・接続詞を使った複雑な文章を書く。</li> </ul>	<p>〈指導上の留意点〉</p> <p>* 自閉症のある児童生徒の場合，持ち主の了解を得ないで，物を使ったり，相手が使っている物を無理に手に入れようとしたりすることがある。また，他者の手を取って，その人に自分が欲しい物を取ってもらおうとすることもある。このような状態に対しては，周囲の者がそれらの行動は意思や要求を伝達し</p>

<p>言語等による表出</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・見慣れている物の名称を言う。</li> <li>・人の名前や名称を言う。</li> <li>・場面の動きについて話す。</li> <li>・物の名称や特徴を話す。</li> <li>・自分から話しかける。</li> <li>・簡単な言葉で要求を訴える。</li> <li>・話し方がはっきりしており，相手に通じる。</li> </ul>	<p>ようとした行為であると理解するとともに，できるだけ望ましい方法で意思や要求などが伝わる経験を積み重ねるよう指導することが大切である。</p> <p>* 自閉症のある児童生徒の中には，他者の意図を理解したり，自分の考えを相手に正しく伝えたりすることが難しい場合がある。そこで，話す人の方向を見たり，話を聞く態度を形成したりするなど，他者とのかかわりやコミュニケーションの基礎に関する指導を行うことが大切である。その上で，正確に他者とやりとりするために，絵や写真などの視覚的な手掛かりを活用しながら相手の話を聞くことや，絵や記号を示したボタンを押すと音声が出る機器などを活用して自分の話したいことを相手に伝えることなど，様々なコミュニケーション手段を用いることも有効である。</p>
<p>応答場面における表出</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・質問を聞いて，はい・いいえで答える。</li> <li>・発音が不明瞭だが，簡単な質問に答える。（選択肢）</li> <li>・質問を聞いて，選択肢の中から選んで答える。</li> <li>・質問の意図にあった答えを話す。</li> <li>・疑問詞を使った質問に答えたり，簡単に質問したりする。</li> <li>・疑問詞を使って質問する。</li> <li>・質問の後に，その質問に沿った話題を話す。</li> </ul>	<p>* 自閉症のある児童生徒は，文字や文章を読んで理解することに極端な困難を示す場合がある。このような場合，聞いて理解する力を伸ばしつつ，読んで理解する力の形成も図る必要がある。その際，コンピュータのディスプレイに表示された文章が音声で読み上げられると同時に，読み上げられた箇所の文字の色が変わっていくようなソフトウェアを使って，読むことを繰り返し指導することが考えられる。</p>
<p>話し方</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・言葉をかけられると返事をする。</li> <li>・あいさつを返す。</li> <li>・知っている人にあいさつをする。</li> <li>・適度に視線を合わせて話をする。</li> <li>・適切な声の大きさと話す。</li> <li>・自分の思いを言葉に表す。</li> <li>・定型的な話し方で思いを伝える。</li> <li>・「ごめんなさい」と謝る。</li> <li>・「おねがいします」「ありがとう」を話す。</li> <li>・いやなことを断る。</li> <li>・状況に合わせた適切な言葉遣いをする。</li> <li>・物事を順序だてて話す。</li> <li>・相手を励ましたり，なぐさめたりする。</li> <li>・場に合わせた話し方をする。</li> <li>・身振りや手振りを使いながら効果的な話し方をする。</li> <li>・悔しさや怒りを言葉で伝える。</li> <li>・分からないことは質問する。</li> <li>・親しい人に不安や心配なことを話す。</li> <li>・困ったときに助けを求める。</li> <li>・趣味や興味のあることを共有しながら話す。</li> <li>・相手の立場や感情を考えて話す。</li> <li>・ユーモアを理解し，笑うべきところで笑う。</li> <li>・ユーモアを使用する。</li> <li>・ユーモアを状況に合わせて使用する。</li> <li>・他者に賛辞をおくる。</li> </ul>	<p>* 自閉症のある児童生徒で，言葉でのコミュニケーションが困難な場合には，まず，自分の意思を適切に表し，相手に基本的な要求を伝えられるように身振りなどを身に付けたり，話し言葉を補うために機器等を活用できるようにしたりすることが大切である。</p> <p>* 自閉症のある児童生徒は，話の内容を記憶して前後関係を比較したり類推したりすることが困難なため，会話の内容や状況に応じた受け答えをすることができない場合がある。このような場合には，自分で内容をまとめながら聞く能力を高めるとともに，分からないときに聞き返す方法や相手の表情にも注目する態度を身に付けるなどして，そのときの状況に応じたコミュニケーションが展開できるようにすることが大切である。</p>

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・状況に応じてその場にふさわしい受け答えをする。</li> <li>・相手に応じた受け答えをする。</li> </ul>	
電 話	<ul style="list-style-type: none"> <li>・電話で用件を伝える。</li> <li>・ベルが鳴ったら電話に出る。</li> <li>・電話で受け答えする。</li> <li>・伝えられた用件を他者に伝える。</li> <li>・電話番号を押して電話する。</li> <li>・電話帳や104を利用して電話をする。</li> <li>・公衆電話を利用する。</li> <li>・初めてのところに問い合わせる。</li> <li>・位置情報システムを利用する。</li> </ul>	

## 集団活動への参加

### 【ねらい】

・集団の雰囲気に合わせたり、集団に参加するための手順やきまりを理解したりして、遊びや集団活動などに参加する。

\*自立活動との関連：2心理的な安定(1)～(3)，3人間関係の形成(4)，6コミュニケーション(1)～(5)

指導内容	具体的指導内容	指導場面例
生活のスケジュール	<ul style="list-style-type: none"> <li>・簡単なスケジュールを理解する。</li> <li>・簡単なスケジュールに従って活動する。</li> <li>・簡単なスケジュールを作って活動する。</li> <li>・生活の核を理解する。</li> <li>・他者の生活時間を尊重する。</li> <li>・生活の核を中心としたスケジュールを立てて活動する。</li> </ul>	<p>【領域・教科を合わせた指導における指導場面例】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・仕事や実習場面の集団の中で活動する場面等</li> </ul> <p>【教科別・領域別の指導における指導場面例】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学部集会や児童会活動・生徒会活動の集団の中で活動する場面等</li> </ul> <p>【特設しての指導場面例】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・教師や友達と一緒に活動することそのもの。</li> </ul>
作業(活動)のスケジュール	<ul style="list-style-type: none"> <li>・簡単なスケジュールを理解する。</li> <li>・簡単なスケジュールに従って活動する。</li> <li>・簡単なスケジュールを作って活動する。</li> <li>・課題を理解する。</li> <li>・課題に対してのスケジュールを立てて活動する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・仲間の気持ちを推測し共感することを体験する活動 (自分や仲間の気持ちを視覚化・数値化して把握したり、推測したりする)</li> <li>・問題解決の考えを学ぶ活動 (問題の理解、解決法を考える、結果予測、一番良い解決法を選ぶ)</li> </ul>
集団の参加や集団内における役割	<ul style="list-style-type: none"> <li>・活動の場所を共に取り組む。</li> <li>・簡単な活動を共にする。</li> <li>・様々な活動や役割を理解する。</li> <li>・活動における役割を主体的に果たす。</li> <li>・最後まで活動に参加する。</li> </ul>	<p>〈指導上の留意点〉</p> <p>*自閉症のある児童生徒の場合には、友達との会話の背景や経過を類推することが難しく、そのために集団に積極的に参加できないことがある。そこで、日常的によく使われる友達同士の言い回しや分からないときの尋ね方などを、あらかじめ少人数の集団の中で学習しておくことなどが必要である。</p>
共同での作業と役割分担	<ul style="list-style-type: none"> <li>・支援者と一緒に簡単な作業を行う。</li> <li>・他者と一緒に簡単な作業を行う。</li> <li>・他者と一緒に楽しみながら簡単な作業を行う。</li> <li>・作業分担が分かる。</li> <li>・作業分担により、主体的に取り組む。</li> <li>・仲間と協力しながら作業を行う。</li> <li>・仲間と計画を立てて作業を実行する。</li> </ul>	

課題遂行	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 次の行動にスムーズに移る。</li> <li>・ 与えられた仕事や課題を最後までやり遂げる。</li> <li>・ 行動の予測をする。</li> <li>・ 自分の行動を思い出す。</li> <li>・ 自分の行動を思い出し、次の行動を考える。</li> <li>・ 自己を監視しながら行動する。</li> <li>・ 失敗や想定外のことが起こっても、柔軟に対応する。</li> <li>・ 仕事や課題に取り組む際に計画を立て、それに沿って実行する。</li> </ul>	
家庭・仕事場における役割	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 活動の場所を共にする。</li> <li>・ 簡単な活動を共に取り組む。</li> <li>・ 様々な活動や役割を理解する。</li> <li>・ 活動における役割を主体的に果たす。</li> <li>・ 活動終了の喜びを分かち合う（行動、打ち上げ等）。</li> </ul>	
地域社会における役割	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 活動時間や場所を把握する。</li> <li>・ 活動への参加に伴う方法を理解する。</li> <li>・ 活動への参加のための手続きをする。</li> <li>・ 活動の場所を共にする。</li> <li>・ 簡単な活動を共にする。</li> <li>・ 様々な活動や役割を理解する。</li> <li>・ 活動における役割を主体的に果たす。</li> </ul>	
行動の選択・決定	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 他者との関係を意識した行動をとる。</li> <li>・ 状況や他者との関係を整理する。</li> <li>・ 行動を通し、他者との損得関係を理解する。</li> <li>・ 念頭での他者との損得関係を理解する。</li> <li>・ 他者との対立に際して、他者の気持ち等を優先させた解決方法をとる。</li> <li>・ 集団の意志を尊重して行動する。</li> <li>・ 相手の立場や感情に合わせて行動する。</li> </ul>	

## 【資料2】

## 学年会の進め方例

◇：学年に在籍する児童生徒を対象とする内容

◆：学年で検討が必要と思われる児童生徒を対象とする内容

### 学期はじめ 個別の指導計画の作成①を受けての学年会による検討

次 第	主な内容
<b>1 今学期の大まかな流れについて</b> (1) 学年教務による、今学期予定している行事やねらい等についての確認 (2) 学年長や学級担任による、学年や学級として目指すべき方向性の提案	◇今学期予定している行事やねらい等についての共通理解 ◇学年や学級として目指すべき方向性の共通理解
<b>2 週案（計画）について</b> (1) 一日ごとの学習予定と日課、職員の動向等についての確認 (2) 学習予定や日課、職員の動向等についての挿入・修正	◇今（次）週の学習予定と日課、職員等の動向等についての共通理解
<b>3 児童生徒の様子について</b> (1) 担任から児童生徒の様子等について (2) 担任による、児童生徒一人一人の目指すべき姿と指導の目標（ねらい）の提案 (3) 学年内による、児童生徒一人一人の指導の目標（ねらい）の検討 (4) 学年内による、児童生徒一人一人の指導の目標（ねらい）を踏まえた、指導する場面（指導形態）の検討	◇児童生徒の様子等についての共通理解 ◆指導に当たる教師間の指導場面や指導内容、支援方法の共通理解
<b>4 学年行事・単元について</b> (1) 学年教務による、学年行事・単元についての提案 (2) 学年内による、学年行事・単元についての検討 (3) 学年内による、児童生徒一人一人の指導のねらい（目標）を踏まえた指導する場面（指導形態）が該当する指導場面における目標（具体的な指導内容）や支援方法の検討	◇今（次）週の学年行事や単元についての確認や、指導場面における目標（具体的な指導内容）、支援方法の検討 ◆指導に当たる教師間の指導場面や指導内容、支援方法の共通理解
<b>5 その他</b>	◇次第にない事項に関する検討や共通理解
<b>6 次回学年会について</b>	◇次回学年会の提案・検討事項についての確認

### 学期中（行事や単元取組前） 個別の指導計画の作成②を受けての学年会による検討

次 第	主な内容
<b>1 週案（計画）について</b> (1) 一日ごとの学習予定と日課、職員の動向等についての確認 (2) 学習予定や日課、職員の動向等についての挿入・修正	◇今（次）週の学習予定と日課、職員等の動向等についての共通理解
<b>2 児童生徒の様子について</b> (1) 担任から児童生徒の様子等について	◇児童生徒の様子等についての共通理解 ◆指導に当たる教師間の指導場面や指導内容、支援方法の共通理解
<b>3 学年行事・単元について</b> (1) 学年教務による、学年行事・単元についての提案 (2) 学年内による、学年行事・単元についての検討 (3) 学年内による、児童生徒一人一人の指導の目標（ねらい）を踏まえた指導する場面（指導形態）が該当する指導場面における目標（具体的な指導内容）や支援方法の検討	◇今（次）週の学年行事や単元についての確認や、指導場面における目標（具体的な指導内容）、や支援方法の検討 ◆指導に当たる教師間の指導場面や指導内容、支援方法の共通理解
<b>4 その他</b>	◇次第にない事項に関する検討や共通理解
<b>5 次回学年会について</b>	◇次回学年会の提案・検討事項についての確認

**学期中（単元取組中） 実践を受けての学年会による検討**

次 第	主な内容
<b>1 週案（計画）について</b> (1) 一日ごとの学習予定と日課，職員の動向等についての確認 (2) 学習予定や日課，職員動向等についての挿入・修正	◇今（次）週の学習予定と日課，職員等の動向等についての共通理解
<b>2 児童生徒の様子について</b> (1) 担任から児童生徒の様子等について ※自立活動の時間を特設しての指導の様子も含めて	◇児童生徒の様子等についての共通理解 ◆指導に当たる教師間の指導場面や指導内容，支援方法の共通理解
<b>3 学年行事・単元について</b> (1) 学年内による，児童生徒一人一人の指導場面における目標（具体的な指導内容）や支援方法の確認と修正	◇今（次）週の学年行事や単元についての確認や，指導場面における目標（具体的な指導内容），支援方法の検討 ◆指導に当たる教師間の指導場面や指導内容，支援方法の共通理解
<b>4 その他</b>	◇次第にない事項に関する検討や共通理解
<b>5 次回学年会について</b>	◇次回学年会の提案・検討事項についての確認

**学期中，学期末（単元取組後） 実践を受けての学年会による検討**

次 第	主な内容
<b>1 週案（計画）について</b> (1) 一日ごとの学習予定と日課，職員動向等についての確認 (2) 学習予定や日課，職員動向等についての挿入・修正	◇今（次）週の学習予定と日課，職員等の動向等についての共通理解
<b>2 児童生徒の様子について</b> (1) 担任から児童生徒の様子等について ※自立活動の時間を特設しての指導の様子も含めて	◇児童生徒の様子等についての共通理解 ◆指導に当たる教師間の指導場面や指導内容，支援方法の共通理解
<b>3 学年行事・単元について</b> (1) 学年内による，学年行事・単元についての反省 (2) 学年内による，指導場面における目標（具体的な指導内容）や支援方法の評価，次の学期の指導の目標（ねらい）の検討 (3) 学年教務による，学年行事・単元についての提案 (4) 学年内による，学年行事・単元についての検討 (5) 学年内による，指導場面における目標（具体的な指導内容）や支援方法の検討	◇今（次）週の学年行事や単元についての確認や，指導場面における目標（具体的な指導内容），支援方法の検討 ◆指導に当たる教師間の指導場面や指導内容，支援方法の共通理解
<b>4 その他</b>	◇次第にない事項に関する検討や共通理解
<b>5 次回学年会について</b>	◇次回学年会の提案・検討事項についての確認

## 引用・参考文献

- 文部科学省（2009），『特別支援学校学習指導要領解説 総則等編(幼稚部・小学部・中学部)』，教育出版
- 文部科学省（2009），『特別支援学校学習指導要領解説 自立活動編(幼稚部・小学部・中学部・高等部)』，教育出版
- 全国特殊学校長会（2005），『盲・聾・養護学校における「個別の教育支援計画」』，ジアース教育新社
- 独立行政法人 国立特殊教育総合研究所（2004），『自閉症教育実践ガイドブック』，ジアース教育新社
- 独立行政法人 国立特殊教育総合研究所（2005），『自閉症教育実践ケースブック』，ジアース教育新社
- 独立行政法人 国立特別支援教育総合研究所（2008），『自閉症教育実践マスターブック』，ジアース教育新社
- 全国特別支援学校知的障害教育校長会編著（2010），『新しい教育課程と学習活動Q & A 特別支援教育[知的障害教育]』，東洋館出版
- 全日本特別支援教育研究連盟・名古屋恒彦（2010），『基礎から学ぶ知的障害教育』，日本文化科学社
- 全日本特別支援教育研究連盟（2011），『自閉症教育のすべて』，日本文化科学社
- 上野一彦・岡田智（2006），『特別支援教育 実践ソーシャルスキルマニュアル』，明治図書
- 鬼秀範（2008），『自立活動，自立活動的な学習の実践集 発達障害のある子どもの支援スタートブック』，明治図書
- 海津亜希子（2007），『個別の指導計画作成ハンドブック』，日本文化科学社
- 名古屋恒彦（2010），『特別支援教育「領域・教科を合わせた指導のABC」』，東洋館出版
- 宮崎英憲・横山孝子（2011），『特別支援学校新学習指導要領・授業アシスト3 よさを伸ばし，豊かな生活をつくる自立活動』，明治図書
- 全日本特殊教育研究連盟機関誌（1986），『発達の遅れと教育No.343』，日本文化科学社
- 全日本特殊教育研究連盟機関誌（1991），『発達の遅れと教育No.407』，日本文化科学社
- 全日本特別支援教育研究連盟編集（2010），『特別支援教育研究No.633』，東洋館出版
- 全日本特別支援教育研究連盟編集（2010），『特別支援教育研究No.639』，東洋館出版
- 全日本特別支援教育研究連盟編集（2011），『特別支援教育研究No.647』，東洋館出版
- 盛岡市立仁王小学校特別支援教育研究部（2009），『社会生活構成要素』



